

再処理施設

) 放射性固体廃棄物

施設名		低レベル放射性固体廃棄物 (本)				合計 (本相当)*1	貯蔵設備 容量 (本相当)
		ドラム缶	アスファルト 固化体	プラスチック 固化体	その他の種類 (本相当)*1		
日本原子力研究開発機構 再処理施設	前年度末の保管量	31,976	29,967	1,812	12,765	76,520	92,140
	当該年度の発生量	65	0	0	124	189	
	当該年度の減少量	160	0	0	0	160	
	年度末の保管量	31,881	29,967	1,812	12,889	76,549	
日本原燃(株) 再処理事業所 (再処理施設)	前年度末の保管量	16,888			25,951	42,839	88,680
	当該年度の発生量	2,315			3,505	5,820	
	当該年度の減少量	1,945			1,583	3,528	
	年度末の保管量	17,258			27,873	45,131	

*32

*33

施設名		低レベル放射 性固体廃棄物 (本)	高レベル放射性固体廃棄物 (本相当)*1			合計 (本相当)*1	貯蔵設備 容量 (本相当)
		せん断被覆片等	使用済 フィルタ等	試料ビン等			
日本原子力研究開発機構 再処理施設	当該年度の発生量		11	0	5	16	10,320
	当該年度の減少量		0	0	0	0	
	年度末の保管量		5,070	315	1,385	6,770	
日本原燃(株) 再処理事業所 (再処理施設)	当該年度の発生量	2				2	2,000
	当該年度の減少量	0				0	
	年度末の保管量	221				221	

*34

) 放射性液体廃棄物

施設名		ガラス 固化体 (本) *35	低レベル放射性液体廃棄物 (m ³)			高レベル 放射性液体 廃棄物 (m ³)
			低放射性 濃縮廃液	スラッジ	廃溶媒	
日本原子力研究開発機構 再処理施設	当該年度の発生量	34	42	0	0	0
	当該年度の減少量	0	0	0	0	16
	年度末の保管量	306	*36 3,024	1,160	*37 99	*38 358
日本原燃(株) 再処理事業所 (再処理施設)	当該年度の発生量	0				
	当該年度の減少量	0				
	年度末の保管量	346				

*32： 廃樹脂及び廃スラッジ、チャンネルボックス及びパーナブルポイズン、使用済フィルタ、試料ビン等を含む。

*33： 貯蔵設備容量には、廃樹脂貯槽（約190m³×3基、約80m³×2基、約120m³×1基）分の4,250本相当分を含む。

*34： せん断被覆片等は1,000個ドラム。

*35： 日本原子力研究開発機構 再処理施設のガラス固化体は120ℓ容器。

日本原燃(株)再処理事業所(再処理施設)のガラス固化体は高さ約1,340mm、外径約430mmの容器。

日本原燃(株)再処理事業所(再処理施設)のガラス固化する高レベル放射性廃液の高レベル廃液貯蔵設備での貯蔵量は約2 2 4 m³
(平成30年3月31日時点)である。

*36： 計器補正による増容2m³。

*37： 計器補正による減容1m³。

*38： 硝酸供給による増容1m³。